

3. 実験項目 造林の初期管理における省力技術の最適化 (スギ・し木苗の幹根形態別成長試験)

4. 実験目的 密着造林を前提として植付直後から飛躍的な成長をばかり惹下りによる造林技術体系を確立する

5. 設定 担当区名 大川原 担当区 国有林 小班 字 鞍掛 国有林 120 林班 小班

設定者 (官職) (氏名) 面積 積量 0.064a 200本

設定年月日 昭和 57 年 1 月 29 日 終了年月日 昭和 59 年 月 日

6. 実験の実施方法

供試材料 クローン (果始良1号 果始南1号 果始良2号 高岡署1号 宮崎署6号) スギ・し木苗 1年生苗 多段根各クローン別 20本 x 5 = 100本 普通根各クローン別 20本 x 5 = 100本

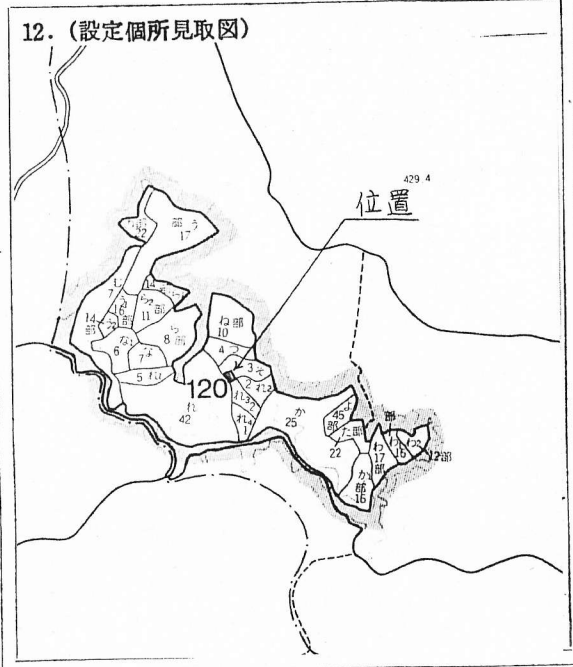
作業方法 各クローンの多段根苗と普通根苗と交互に方形植栽

調査事項 造林木の成長と(上長成長のみ)測定

調査時期 植付時 毎年 5/29. 11/月末

測定位置 固定するためピエールイノシシの穴を打敷

測定方法 ① 地杭を基準に測定する ② 単位はcmで単位未満は捨入



7. 更新	植付	新植 昭和 年 月 日	11. 方位 AW	標高	m	
	樹種	スギ		傾斜	平均 25度	基岩 砂岩
	苗木	し木 1年生		土性	壤土	気象
新	ha 当り 植栽本数	2000 本/ha	土深度	中	年平均温 15.7°C	
	幼令 木令		堅密度	軟	年最高温 25.9°C	
8. 施肥	幼令 木令		湿度	適	年最低温 -7.2°C	
	下刈		土壌型	BD	年降水量 2700mm	
9. 保育	つる切		土壌度			
	除伐					
10. 実験地の現況						

13. 設定時の植生

14. その他

(記載要領) 1. 分類欄は造林実験営林署運営要綱 2. (3), (4), により大別し更に分類番号欄で細別する。
 2. 設定箇所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。
 3. 既設造林地に実験地を設定する場合は新植から保育迄の経過を作業毎に記入する。
 4. 成木施肥実験の場合高林令のため施肥の経緯が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

実験地位置図



都城 営林署

No. _____

造林実験地位置図および設定図

1. 分類

指示

2. 分類別
番号

実験地位置図

1/5,000

実験地設定図

1/1,000

植栽配置図

S
§

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
普通根	多段根	普通根	多段根	普通根	多段根	普通根	多段根	普通根	多段根	普通根	多段根	普通根	多段根					
景日南	"	景始良	"	景始良	"	宮崎署	"	高岡署	"									
1号	"	7号	"	11号	"	6号	"	1号	"									

様式 2

昭和 54 年度 技術 開発 実施 計画 報告 書

熊本 営林(妻)局

課 題	継続 新規	継続	経常 特別	経常	担 当	造林課 技術調査	開発箇所 菊池 都城 長崎 大分 鹿屋	期 間	自53年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
	1-(*)		スギ植木苗の発根促進剤成長調査	物件費					発根促進剤, 標杭, 標板, 調査用器具, フィルムその他					千円		
目 的	植栽木の林地における初期成長は多岐根苗が良好である事から多岐根苗木の林地における成長についてその関係と明らかにし育苗技術を検討する。								至57年度			役務費	スライド, 現像液付			
												人件費	臨時	1.92人		
												計				

全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分		評価および普及計画																																																								
		実 施 計 画	実 施 結 果																																																									
1. 試験地の設定 (1) 育苗試験 多岐根苗を目的とした育苗方法 (2) 林地植付試験 多岐根苗の林地植付後の成長量等の検討	53年度 1. 試験地の設定 (1) 多岐根苗の育苗を目的とした 挿付と繁殖 (2) 既成苗の中から多岐根苗を 選苗し、林地植付を繁殖	1. 試験地の設定 大分 2. 育苗試験 --- 菊池, 都城, 長崎 3. 林地植付 --- 菊池, 都城, 長崎, 大分, 鹿屋 4. 成長量調査 5. 作業工程調査	1. 育苗試験 スギ挿木をクローン別に多岐根苗の 育苗を目的とした処理を行い、 多岐根の発生状況等を調査。 53年度挿付作業の10について、 54年度調査を実施した。 又、54年度も同様な方法 で育苗試験地を設定。 2. 林地植付 多岐根苗の林地植付後の成長林 況を調査。 53年度は既成苗の中から多岐根苗 を選苗、植付し、54年度調査を 実施した。 又、54年度は育苗試験に於 ける苗木による林地植付試 験地を設定。	苗木育成については 特記すべき差異は 認められぬが未 だ評価するまで にいたっていない。																																																								
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>年度</th> <th>53</th> <th>54</th> <th>55</th> <th>56</th> <th>57</th> <th>58</th> </tr> <tr> <td>試験地設定</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>育苗試験</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>林地植付</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既成苗による 林地植付</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成長量調査</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>作業工程調査</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	年度	53	54	55	56	57	58	試験地設定		○	○	○				育苗試験		○	○					林地植付			○	○				既成苗による 林地植付		○						成長量調査			○	○	○	○	○	作業工程調査		○	○	○							
項目	年度	53	54	55	56	57	58																																																					
試験地設定		○	○	○																																																								
育苗試験		○	○																																																									
林地植付			○	○																																																								
既成苗による 林地植付		○																																																										
成長量調査			○	○	○	○	○																																																					
作業工程調査		○	○	○																																																								

(指示課題)

昭和57年度技術開発実施報告書

課題	継続別 新規	継続	経常別 経常 1-ア	担当 造林課	開発箇所 長崎 大分 鹿屋	期 間 昭和 53年度 ～ 昭和 60年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経費	品名	数量	単価	金額 千円
	スギ・ヒノキの発根形態別生長試験		物件費						調査用品				
目的	多段根苗は普通苗に比較し、良い初期生長を示す傾向がみられるので、 多段根苗と生長との関係の究明と多段根着苗の技術を開発する。								役務費	現像焼付			
									人件費	臨時(墨)	(11)人 30		()
									計				

全体計画	実施経過	当年度分		
		実施計画	実施結果	評価および普及計画
<p>1. 育苗</p> <p>1) 発根促進</p> <p>① キズ付別</p> <p>② 発根促進剤</p> <p>2) 調査事項</p> <p>① 多段根苗得苗の調査</p> <p>② 生長量調査</p> <p>③ 気温及び地温</p> <p>2. 林地植付</p> <p>1) 多段根苗及び普通苗の植付</p> <p>2) 調査事項</p> <p>① 活着率調査</p> <p>② 生長量調査</p>	<p>1. 昭和53年度</p> <p>(1) 多段根苗育苗(昭和53年3月植付) 菊池、都城、長崎、苗畑</p> <p>(2) 既成苗の中より多段根苗と普通苗 し林地植付(昭和54年3月植付) 菊池、都城、長崎、大分、鹿屋。</p> <p>2. 昭和54年度</p> <p>(1) 多段根苗育苗(昭和54年3月植付) 長崎、菊池、大分、都城</p> <p>(2) 林地植付(昭和55年3月植付) 昭和53年育苗の多段根苗を林 地植付。</p> <p>(3) 育苗及び林地植付地の生長 量等の調査。</p> <p>3. 昭和55～56年度</p> <p>(1) 林地植付(昭和56年3月植付)</p> <p>(2) 昭和53～55年度植付地の生長 量調査。</p>	<p>1. 昭和53～55年度に林地植付箇所 についての調査</p> <p>(1) 活着率調査</p> <p>(2) 生長量調査</p> <p>(3) 調査結果の分析。</p>	<p>活着率及生長量調査を行った が、多段根苗と普通苗との差異 は認められなかった。</p>	